



広島大学大学院人間社会科学研究科 教職開発専攻 (教職大学院)

令和8年度



▶ 学校マネジメントコース ▶ 教育実践開発コース

GRADUATE SCHOOL OF HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES
PROFESSIONAL DEVELOPMENT PROGRAM FOR TEACHERS AND SCHOOL LEADERS

「より総合的で実践的な
プロフェッショナル」としての
教員を目指して。



広島大学大学院人間社会科学研究科
教職開発専攻長
木下 博義

教職大学院は、高度専門職業人養成としての教員養成に特化した専門職大学院として、社会の大きな変化や複雑・多様化する学校教育課題に対応し得る、高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた教員の養成を目的としています。

広島大学大学院人間社会科学研究科教職開発専攻(教職大学院)では、「探究・創造・協働の学び」を追求する新しい学校づくりを担う「より総合的で実践的なプロフェッショナル」としての教員の養成を目指しています。そのため、理論と実践の往還を基盤としたカリキュラムを通して、学校や地域社会の課題に主体的に取り組むことのできる実践的対応力と実践研究力を育成します。

本専攻は、教育現場との長年にわたる連携実績と、総合研究大学としての国際的な強みを活かし、理論と実践を架橋する質の高い学びを提供しています。具体的には、「学校マネジメントコース」においては、新しい学校づくりを牽引する指導的スクールリーダーの育成を、「教育実践開発コース」においては、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員並びに学校において指導的役割を果たすミドルリーダーの育成に取り組んでいます。

こうした取組を通して、学校教育の新たな価値を創造する教員を社会に送り出します。本専攻での学びが、これからの学校教育を切り拓く確かな力として結実することを期待しています。

本専攻の4つの特徴

1 2つのコースが育む
実践的な指導を備えた教員像

「学びのポートフォリオ」の作成や2コース合同での研究発表会、コース共通科目等を通じ、多様な学びを提供します。また、各教育委員会等の関係機関と連携し、4期に渡り50日間の実地研究を行い、実践的な指導力を身につけます。



2 学校現場が直面する
諸課題の理解を深める科目群

社会に対応する「新しい学び」(主体的・対話的で深い学びやICTなど)のあり方や教育相談・生徒指導上の諸課題、「チーム学校」の一員として協働するためのマネジメントなど、学校現場が直面する諸課題への実践的対応力を総合的に身につけます。



3 「トライアングル型体制」による
細やかで丁寧な指導

研究者教員、実務家教員、メンターが連携・連動し、形式知に基づく指導、実践知に基づく指導、実際の現場での実践的指導を展開します。学校現場で活躍できる「総合的で実践的なプロフェッショナル」養成のためのきめ細やかな指導を行います。



4 多彩な国際的ネットワークを生かした
学際的な教育・研究活動

アメリカ現地校で授業実践を行う「海外教育実地研究」をはじめ、教員の有する海外の教育・研究機関との幅広いネットワークを活かして教育現場の視察や学会へ参加するなど、SGUならではの多様な経験を積むことができます。



授業科目

コース区分	学校マネジメントコース	教育実践開発コース	単位
大学院共通科目	「持続可能な発展科目」から1単位、「キャリア開発・データリテラシー科目」から1単位		2
研究科共通科目	研究科共通科目から2単位		2
コース共通科目※1	教育課程の編成・実施に関する領域 教科等の実践的な指導方法に関する領域 生徒指導・教育相談に関する領域 学校経営・学級経営に関する領域 学校教育と教員のあり方に関する領域		20
コース選択科目※2	学校の経営戦略と評価 教職員の人材育成 地域教育経営の理論と実践 カリキュラムマネジメントの理論と実践	教育課程開発の実践と評価 論理的思考教育の開発実践 授業研究の開発実践(ICTを含む) 幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む) 教育相談・カウンセリングの理論と実践 学校経営の理論と実践 学校経営の理論と実践(地域とともにある学校を含む) 現代教師教育の理論と実践 現代の教育改革	11以上
コース必修科目	アクションリサーチ・セミナー I・II・III・IV		4
学校における実習科目	アクションリサーチ実地研究 I(教育行政職実務)・II(学校管理職実務)・III・IV(所属校実習)	アクションリサーチ実地研究I・II・III・IV	10
			計49単位

※1 ●各科目2単位 ●学校マネジメントコースは、これまでの教職経験や研修歴等を考慮した上で、共通科目20単位のうち6単位まで、コースの選択科目の単位を共通科目の単位として充てることができます。
 ※2 ●「学校経営・行政フィールド調査」は1単位、他の科目は2単位 ●現職教員学生は、個々の院生のコースに応じて、他コースの選択科目もコース選択科目として履修できます。

取得できる教員免許状

幼稚園教諭専修免許状	小学校教諭専修免許状
中学校教諭専修免許状 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語	高等学校教諭専修免許状 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、保健、家庭、情報、農業、工業、商業、英語
学校心理士受験資格 取得可能	

※入学時において、一種免許状を有している必要があります。

修了後の進路

- ▶ 学校マネジメントコース
(令和7年4月現在:全27名中)
校長 3名 教頭 8名 主幹教諭 4名 教育行政職 5名
- ▶ 教育実践開発コース
(令和4年度～令和6年度:学部卒業生全58名中)
教員就職(保育士を含む) 54名
(小学校 23名 中学・高等学校 28名 中等教育学校 1名 日本人学校 1名)

教員就職率
(教員志望の修了生を対象)
100%

入学者選抜の概要

選抜区分	一般選抜	現職教員特別選抜
入学定員	30名	
コース名	教育実践開発コース	学校マネジメントコース / 教育実践開発コース
出願資格	次の①と②の要件を全て満たす必要があります。 ①大学を卒業した者(当該年度の卒業見込を含む) ②幼稚園、小学校、中学校及び高等学校のいずれか1つ以上の普通免許状を有する者(当該年度の取得見込を含む)	次の①と②の要件を全て満たす必要があります。 ①大学を卒業した者 ②以下の教職経験を持つ者 <input type="checkbox"/> 学校マネジメントコース 教育委員会等の推薦を受けた者 <input type="checkbox"/> 教育実践開発コース 教職経験6年以上の者、または教育委員会の推薦を受けた者
選抜方法	書類審査 / 筆記試験(外国語、専門科目) / 口述試験	書類審査 / 筆記試験(専門科目) / 口述試験

※本表に記載されている内容は、令和7年度に実施した大学院入学者選抜の出願資格です。令和8年度に実施する入学者選抜(令和9年度入試)の情報は、最新の募集要項で確認してください。

お問い合わせ

広島大学大学院人間社会科学研究科教育学系総括支援室(大学院課程担当) 〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1
TEL:082-424-3706 FAX:082-424-7108 e-mail:kyoiku-in@office.hiroshima-u.ac.jp

これからの学校づくりを牽引するスクールリーダーを育成

学校マネジメントコース

■ コースが目指す教員像

学校マネジメントコース（現職教員対象）では、学校づくり、理論づくり、自分づくりの3つの視点から、これからの学校づくりを牽引するマネジメント力を備えたスクールリーダー（学校管理職や教育行政職）の育成を目指します。

■ 学びの特徴

少人数のゼミ形式で徹底した学びを追求できる必修科目群

自らの研究テーマを設定し、関連する文献の精読や考察、指導教員・研究室メンバーとの討議を通じてマネジメントに関する理解を深めていきます。



実習校との連携協働によるトライアングル型指導でニーズに応じた指導を実現

研究発表会に教育委員会指導主事、学校管理職にも出席をおこなうなど、自身の研究について理論と実践の双方の観点から指導を受けられる機会が充実しています。



教育委員会・連携協力校での教育行政・学校経営を経験

教育委員会において実際に教育行政職の実務を体験したり、実地研究校において校長職務のシャドーイング（密着研修）を経験したりすることで視座を高めます。



新しい学校づくりの有力な一員となる新任教員、学校づくりの中心となるミドルリーダーを育成

教育実践開発コース

■ コースが目指す教員像

教育実践開発コース（学部卒学生および現職教員対象）では、新しい学びや諸課題に対応した授業実践とその理論的な省察を通して、理論に基づいた確かな実践力をそなえた新任教員及びミドルリーダーの育成を目指します。

■ 学びの特徴

学部卒学生と現職教員学生が交わる協働の学びの場

教育実践開発コースでは学部卒学生と現職教員学生が院生生活を共にします。講義内や院生室での双方の視点からの活発な交流が、新たな気づきや深い学びを促します。



学校現場のフィールド理解に基づいた実践力・対応力の育成

指導する全教員は教職等の経験を有するか、長らく学校現場と協同しています。理論と実践の往還を自らも目指す教授陣から学校現場と乖離しない実践力・対応力を学べます。



トライアングル型指導体制（大学教員2名+メンター）による高度な実践力の育成

実地研究校における4回のアクションリサーチ（AR）のそれぞれで理論に基づいた実践を展開。確かな専門性に基づいた高度な教育実践力を身につけることができます。



学生からのメッセージ



学校マネジメントコース 2022年度入学生 中原 宏美 現職教員学生



教育実践開発コース 2022年度入学生 小川 大輔 現職教員学生



教育実践開発コース 2022年度入学生 藤本 美沙子 学部卒学生

私は、学校マネジメントについて学び、新しいものの見方や考え方で自分を省察するとともに、スクールリーダーとしてのふれない軸をつくりたいと思い入学しました。現在、「主体的に学ぶ児童」が育つカリキュラム・マネジメントに関する研究-学びの深さ(学力・学習の質)に着目して-をテーマに研究を進めています。ここでは、私が感じている教職大学院の魅力の2つをお伝えします。1つ目は、大学の先生方との議論を交わすセミナーや教育行政・学校管理職実務を学ぶ実地研究です。これらの経験を通して、学校づくりの主体として自覚が高まったことを感じています。2つ目は、様々な立場や考えをもった人々との出会いです。そのような人々との対話は、自分の頭で考えること・自分の理論をつくることの難しさや楽しさの実感へとつながっています。今後も、学校づくりを通して理論と実践を往還し自分を省察することで、スクールリーダーとしての自分づくりを進めていきたいと思っています。

私は、中学校教員として、授業実践を積み重ねてきました。そのなかで、自分の授業の質を一層高めたいと思い、教職大学院に入学しました。しかし、入学してみると、ここが授業の質を高めるための方法論を学ぶだけの場所ではないことに気づきました。多様な校種・教科の大学教員や院生との議論、国際バカロレアやイェナプランなどの先進的な教育を実践している学校の視察、大学図書館での先行研究の調査等、大学院での研究生生活をおして導かれるのは、教育とは何か、学ぶとは何か—そのような根本的な本質的な問いでした。そのような問いに明確な正解はないのかもしれませんが、そうした問いを考えることが、私の当初の関心であった自分の授業の質を高めることにもつながっていることを実感しています。教職大学院は、実践的な研究をする大学院として位置づけられていますが、同時に、その根っこにある教育哲学を深めていく場でもあると思います。

「このまま教壇に立ててよいのだろうか。」教育実習を終えて感じたこの不安を少しでも解消したいと思い、教職大学院の受験を決めました。実地研究では、分かりやすく楽しい授業を目指すことはもちろんですが、同時に研究の一部であるという意識も大切です。実地研究先や大学の先生からアドバイスを頂きながら授業計画を立て、実践と省察を繰り返し深めていきます。目の前の子どもたちと向き合うだけで一杯だった教育実習とは違う「教育の奥深さ」を日々実感しています。様々な人に助けを頂きながら授業づくりを積み重ねるうちに、子どもたちと関わる自分が明確にイメージできるようになったと思います。今では、教壇に立つことへの不安よりも、楽しみの方が大きくなっています。かつての私のように教員になることに不安を感じている方、ぜひ一緒に教職大学院で学びましょう。

専任教員紹介



教授 教科教育学、美術教育 池田 吏志



教授 授業評価論、体育科教育 大後戸 一樹



教授 授業分析論、理科教育 木下 博義



教授 教科教育学、社会科教育 永田 忠道



教授 授業構成論、学習指導論、算数科教育 松浦 武人



教授 教科教育学、国語教育 松本 仁志



准教授 家庭科教育学、保育学 伊藤 優



准教授 理科教育、STEM教育 雲財 寛



准教授 教師教育学、教育哲学 岡村 美由規



准教授 学校経営の実践的研究、地域教育経営論、教員研修 杉原 満治



准教授 教科教育学、音楽教育、音楽表現 寺内 大輔



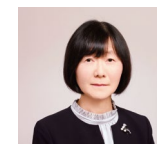
准教授 生徒指導、学級経営方法論、教育実践学 戸高 真也



准教授 学級経営方法論、教育実践学 藤川 照彦



准教授 地域教育経営論、教員研修 藤田 典生



准教授 英語科教育、初等中等教育学、学習指導論 又野 陽子



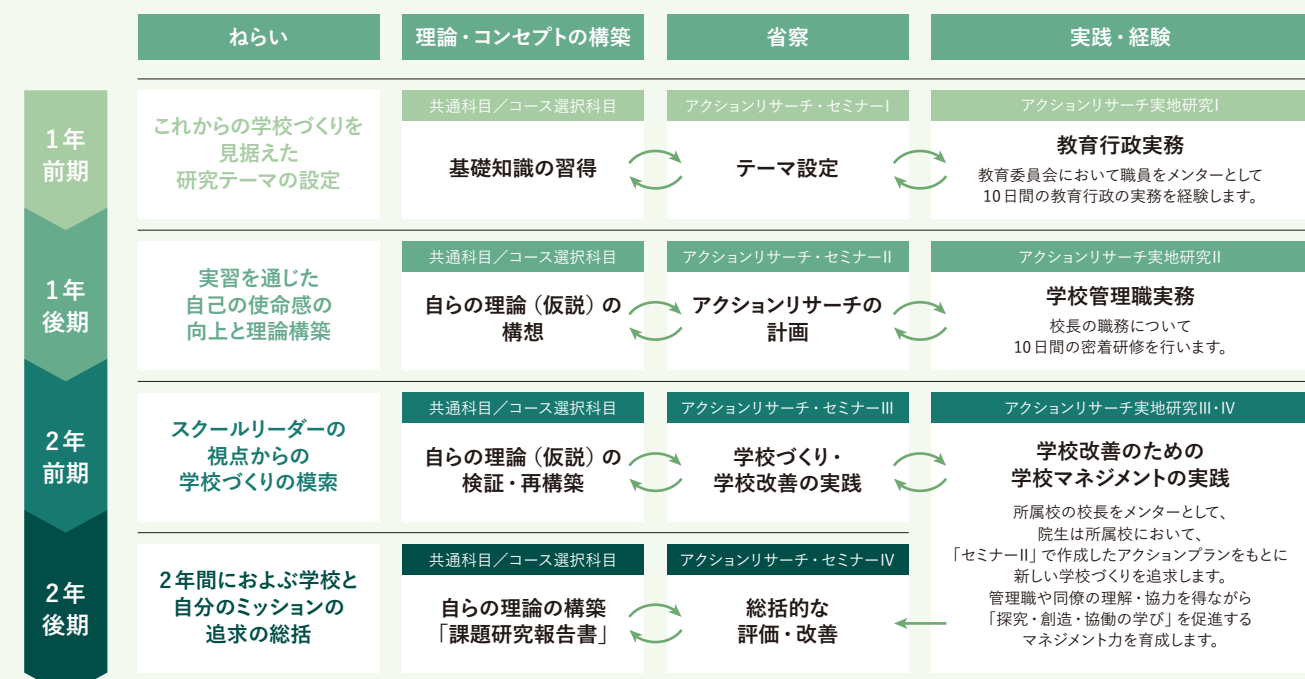
講師 教育心理学、対人スキル指導 高橋 均



講師 学校心理学、教育相談・生徒指導 山崎 茜

教職大学院では、掲載されている専任教員以外にも、人間社会科学研究所教育科学専攻の教員や客員教員など、豊富な教授陣が連携して指導にあたります。

■ 学びのプロセス



■ 学びのプロセス

